

農林水産省
MAFF
RECRUIT
2027 入省案内

農業農村工学/農業土木



農業インフラの 未来を支える組織

農林水産省 中国四国農政局

農業の持続的発展のを目指しています



採用情報の詳細は
こちらをチェック!! ↓



農林水産省の最重要ミッション

我が国の食料・農業・農村は、気候変動等による自然災害の多発や、人口減少に伴う国内需要の減少、高齢者の引退による農業従事者の急減など、これまで経験したことのない課題に直面しています。このような状況下でも、国民に食料を安定的に供給し続けられるよう環境整備を図るのが国の責務です。

このため、農林水産省では「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村の地域コミュニティの維持」を基本理念として、その実現に向けて様々な政策に取り組んでいます。

食料安全保障

国民一人一人の「食料安全保障」は、国家の最も重要な責務の一つです。国内の農業生産の増大を基本としつつ、安定的な輸入・備蓄、食料の供給能力の確保などに取り組んでいます。

【キーワード】 #食料安全保障 #国際交渉 #食料システム #フードバンク #こども食堂

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：農学

環境・技術政策

スマート技術や新品種の開発に取り組んでいます。また、適正な化学農薬・肥料の使用など、農業生産活動における環境負荷軽減にも取り組んでいます。

【キーワード】 #スマート農業 #ゲノム編集 #カーボンクレジット #環境保全型農業 #気候変動

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：デジタル・電気・電子

産業振興

人口減少に伴い、国内市場、加工食品の消費量も減少見込みであるが、国内への食料供給に加えて、輸出を促進することによる国内の食料供給の維持に取り組んでいます。

【キーワード】 #輸出 #国際交渉 #市場開拓 #食料システム #動植物検疫

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：農学

農村の振興

農村人口の減少に伴い、これまで地域の共同活動として行っていた農地の保全、農業用施設の管理に悪影響が生じています。このため、従来から農村で暮らしている方々に加えて、定住・移住や仕事の関係などを通じて、農村に関わりのある人を増やすことにより産業を振興、地域コミュニティが維持されるような取り組みを支援しています。

【キーワード】 #農泊 #農村RMO #農山漁村発イノベーション #農福連携 #鳥獣害 #農業遺産

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：農業農村工学、物理、化学

農業生産基盤の整備・保全

農業従事者の減少等が生ずる状況下でも、食料の供給機能が発揮され、農業の持続的発展が図られるよう、良好な営農条件を備えた農地、ダムやため池等の農業水利施設等のインフラ整備を進めています。また、大規模災害時にも機能不全に陥ることのないよう、インフラの長寿命化、防災力の向上等に取り組んでいます。我が国の食料生産を支え、農山漁村の豊かで安全・安心な暮らしを支えるため、農業インフラの整備、保全管理を力強く推進しています。

【キーワード】 #農業農村整備 #農業水利施設 #ため池 #保全管理 #国土強靱化

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：農業農村工学、土木（一般職（高卒））：農業土木、技術

消費・安全

国民の健康を守るため、「食」の安全を確保し、消費者が「食」に対する信頼感を持てるような政策の企画・実行を行っています。

【キーワード】 #食品安全 #食品表示 #食育 #鳥インフルエンザ #豚熱

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：農学、化学

森林・林業政策

豊かな森林を次代に継承するため、ビルや学校校舎への木材利用の促進や、木材を運び出す林道の整備により、森林資源の循環利用を進めています。

【キーワード】 #木質バイオマス #クリーンウッド #スマート林業 #花粉症対策 #里山 #森林環境税・森林環境譲与税

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：林学

水産政策

水産物の消費拡大や輸出促進、スマート水産業等の新技術の開発・普及等の施策のほか、水産資源に関する国際交渉をリーダーシップを持って進めています。

【キーワード】 #水産資源管理 #スマート水産業 #漁業交渉 #漁港漁場整備 #ブルーカーボン #養殖業成長産業化

採用する主な試験区分（一般職技術系（大卒））：水産

ミッション達成のための農業農村整備の方向性・手段

農林水産省の基本理念の一つ「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村の地域コミュニティの維持」実現のため、様々な農業農村整備事業を展開して、「スマート農業や需要に応じた生産に対応した基盤整備」、「農業生産の基盤の保安全管理」、「防災・減災、国土強靱化」を推進しています。

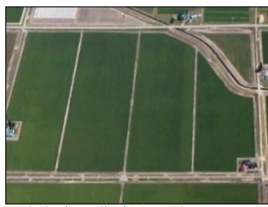
スマート農業や需要に応じた生産に対応した基盤整備

○ スマート農業に対応するための基盤整備

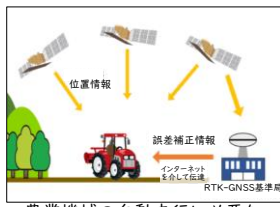
- 農業人口が減少する中であっても、生産性を向上させるため、スマート技術等を活用した営農が進めやすくなるよう、水田の大区画化、畑地・樹園地の区画整理・緩傾斜化、情報通信基盤の整備等を推進。

【主な事業の名称】

国営農用地再編整備事業（水田の大区画化・汎用化等 $A \geq 400\text{ha}$ ）、農業競争力強化農地整備事業（補助 $A \geq 20\text{ha}$ ）
農山漁村振興交付金（情報通信環境整備等）、農地耕作条件改善事業（補助 基盤整備に向けた取組の支援（ソフト）等）他



自動走行農機等に対応した
水田の大区画化



農業機械の自動走行に必要な
通信基盤局の設置



水田の汎用化・畑地化



汎用化による高収益作物への転換

○ 需要に応じた生産を促進するための基盤整備

- 複合経営への転換、小麦・大豆・高収益作物等の生産拡大等のため、水田の汎用化・畑地化のための整備を推進。

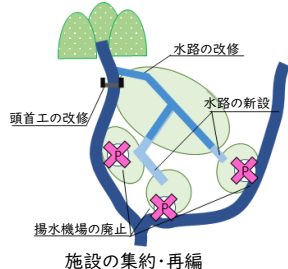
農業の生産基盤の保安全管理

○ 基幹的な施設

- ポンプ場や用水路等について、営農や土地利用の状況を把握して、送水方法の見直し、施設の集約・再編による省エネ化を推進。
- 施設の操作を省力化するため、ICT等新技術の導入を推進します。
- パイプライン破裂等の突発事故が発生した場合、早急に復旧・補修等を実施。

【主な事業の名称】

国営かんがい排水事業（農業水利施設の整備、省エネ化等 $A \geq 3,000\text{ha}$ ）、水利施設整備事業（補助 $A \geq 200\text{ha}$ ）
土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄、補助）、土地改良施設維持管理適正化事業（補助 施設の整備補修等）、
水利施設管理強化事業（施設管理費の補助）、土地改良区機能強化支援事業（補助 ビジョンの作成支援（ソフト））他



ICT等新技術の導入
（水管理の遠隔化・自動化）



開水路の管路化



施設の保安全管理に地域が連携

○ 用水路等の末端施設

- 水路の泥上げや草刈りといった管理作業を省力化するため、管路化や法面被覆等の整備を推進。
- 施設の維持管理に係る費用を補助。
- 農業水利施設等の保安全管理に、地域の関係者が連携して取組めるよう、その計画（水土里ビジョン）作りを支援。

防災・減災、国土強靱化

○ 防災・減災、国土強靱化の着実な推進

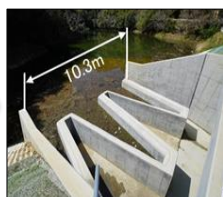
- 防災重点農業用ため池について、洪水吐の改修等の豪雨対策を推進。

【主な事業の名称】

国営総合農地防災事業（農業水利施設の機能回復、豪雨対策、耐震化整備等 $A \geq 3,000\text{ha}$ 、ため池防災工事 $A \geq 300\text{ha}$ ）
農業水路等長寿命化・防災減災事業（施設の補修・更新、ため池の整備（廃止）等）、
土地改良施設突発事故復旧・防止事業（直轄、補助）他



豪雨対策（洪水吐きの改修）のイメージ



事故の兆候（漏水）



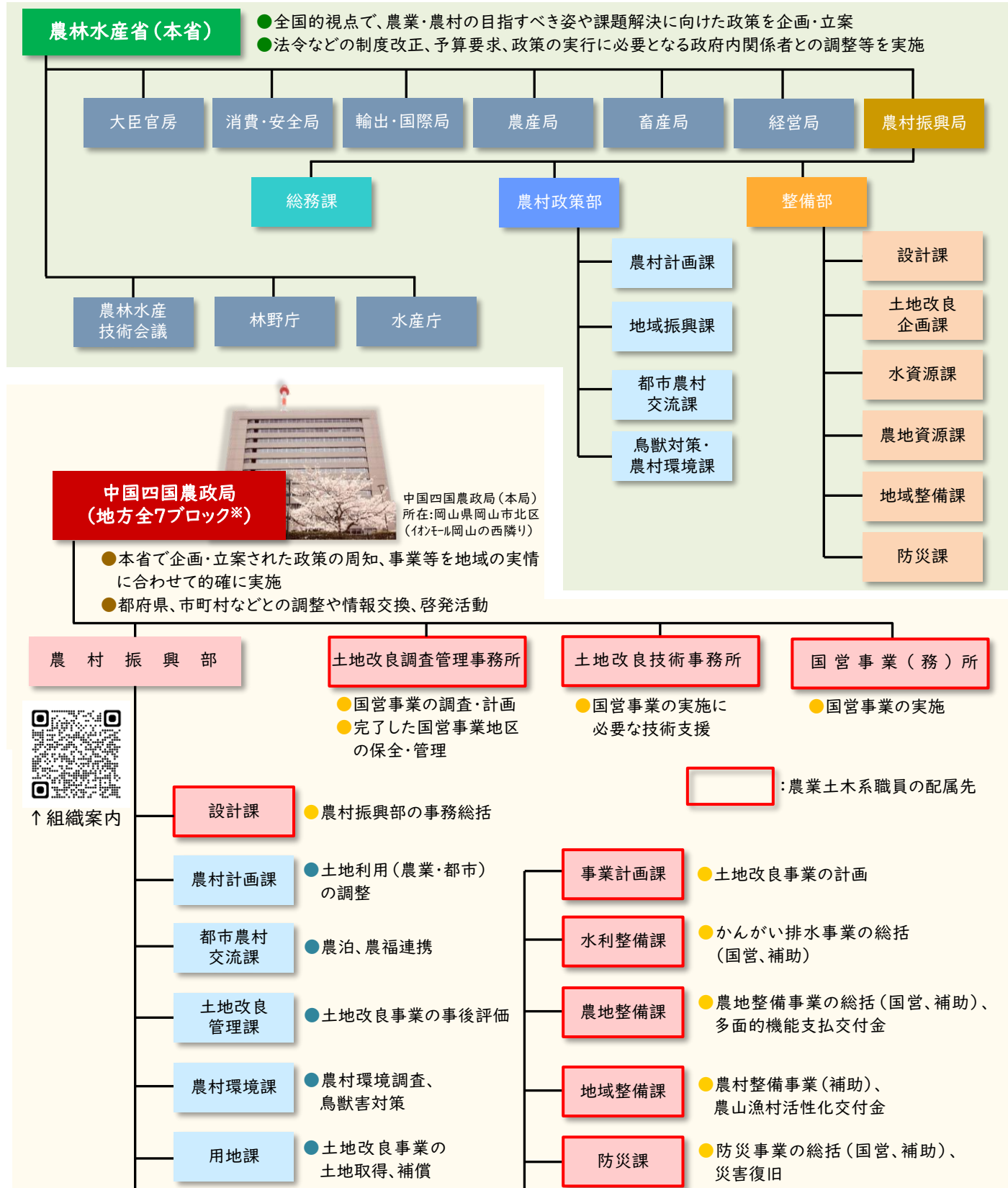
対策工事



被害を未然防止

農業・農村を支える組織

農業農村工学（農業土木）区分で中国四国農政局に採用されると、主には中国四国地方をフィールドとして「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村の地域コミュニティの維持」実現に向けた業務を組織で連携しながら実施しています。



※地方農政局は、東北・関東・北陸・東海・近畿・中国四国・九州の7ブロックに設置（北海道、沖縄にはそれぞれ国土交通省北海道開発局、内閣府沖縄総合事務局があります。）

中国四国地域が主なフィールド

農業農村工学（農業土木）区分で採用された技術系職員は、農政局（本局）の他、調査、計画を担当する「土地改良調査管理事務所」や、国の直轄で工事を行う「国営事業所」、国営事業を技術支援する「土地改良技術事務所」への配属となり、技術者としての専門性を活かした仕事をします。



	名 称	所 在	主な業務内容
①	中国土地改良調査管理事務所	広島県広島市	土地改良事業の調査、事業計画の作成
②	中国土地改良調査管理事務所 松江分室	島根県松江市	〃
③	四国土地改良調査管理事務所	香川県丸亀市	〃
④	四国土地改良調査管理事務所 南予用水支所	愛媛県松山市	国が造成した水路、ポンプ場の改修
⑤	四国土地改良調査管理事務所 坂出分室	香川県坂出市	土地改良事業を実施するための調査・計画
⑥	土地改良技術事務所	岡山県岡山市	国営事業の実施に必要な技術支援
⑦	吉井川農業水利事業所	岡山県岡山市	国が造成した頭首工、水路の改修
⑧	吉野川北岸二期農業水利事業所	徳島県阿波市	国が造成した水路の改修
⑨	道前道後用水農業水利事業所	愛媛県東温市	国が造成したダム、水路の改修
⑩	穴道湖西岸農地整備事業所	島根県出雲市	農地の大区画化、排水機場の整備
⑪	南周防農地整備事業所	山口県田布施町	農地の大区画化
⑫	道前平野農地整備事業所	愛媛県西条市	農地の大区画化、排水機場の整備
⑬	高知南国農地整備事業所	高知県香美市	農地の大区画化、排水機場の整備
⑭	岡山南土地改良建設事業所	岡山県岡山市	児島湾締切堤防の改修、耐震化
⑮	岡山南土地改良建設事業所 寺間支所	岡山県笠岡市	国が造成したポンプ場の改修

主な仕事は、国営事業、補助事業に関すること

具体的には、国営事業、補助事業に関する業務を主に行います。

・国営事業は、「土地改良調査管理事務所」にて事業計画を作り、その事業計画に基づいて、「国営事業所」で工事が実施されます。それらに直接関わる仕事をします。

・県や市町村等が主体となって実施する補助事業は、「農政局」において、県や市町村等に財政的な助成（補助金、交付金）を行うための審査や手続きなどの事務的作業を行います。

国営事業に関する業務 (国営かんがい排水事業の例)

◀ 計画作りを「土地改良調査管理事務所」、工事を「国営事業所」、事業の助言・指導を「農政局」で、それぞれ作業を分担して行います。

調査・計画

◀ 国営事業の計画を作成します。(農業土木職員と、調査計画系職員が連携して対応。)
【主な仕事の内容】

- ・農地面積、営農、土地利用の調査
- ・農業者や施設の管理者から、施設の改修要望等の聞き取り
- ・施設の劣化状況の診断
- ・地域営農の将来展望を踏まえた事業構想(工事計画)の検討
- ・工事に必要な費用(費用対効果含む)の算定
- ・関係機関(国、県、市町村、土地改良区等)と調整
- ・土地改良法に基づく事業開始の手続き

水路の診断

ポンプの診断

要望の聞き取り

関係機関との打合せ

農業者や施設管理者に
事業計画の説明

事業計画書の作成

工事の実施

◀ 作成された国営事業計画に基づき工事を実施します。(農業土木職員が対応。)
【主な仕事の内容】

- ・工事に必要な地質調査、測量
 - ・改修等を行う施設の構造設計、工事数量の算定
 - ・工事費用の算定(積算)
 - ・関係機関、工事用地の地権者、周辺住民に工事内容の説明
(・調査、測量、設計、工事を業者に発注するための手続き)
 - ・工事着手後は、設計通り施工されているかを確認するための監督・検査
- ◀ 土地改良技術事務所が技術的な支援をします。

設計の打合せ

関係者への説明

工事の積算
発注手続き

工事の実施

工事の監督・検査

施設の管理

◀ 工事が完了した施設は、主には県、市町村、土地改良区が管理します。

補助事業等に関する業務

◀ 主には「農政局」で、農業農村整備に関する事業のうち、国以外の、県や市町村等が主体となって行う事業に、財政的な助成(補助金、交付金)を行うための仕事をします。

【主な仕事の内容】

- ・県や市町村等から提出された申請書類の審査
- ・補助金の交付に係る手続き
- ・技術的な指導、助言

補助事業への指導、助言

様々なキャリアを重ね、スキルが身に着く

概ね2、3年ごとに、農政局や国営事業所等を異動し、農林水産省（本省）勤務などもバランス良く経験し、様々なキャリアを重ねていきます。職員の能力が最大限に発揮されるよう、また、知識・技術の修得・向上のため、様々な研修機会が用意されています。

ーキャリアパスのイメージー



※その後は、専門官、課長補佐、課長などを経験（スキルに応じて海外勤務も経験できます。）

ー主な研修ー

初任技術研修

- 農林水産行政一般の知識を学ぶ
- 社会人としてのマナーを学ぶ
- 農業農村整備事業の目的、概要、農業農村工学の基礎科目を学ぶ

基礎養成研修

農業水利基礎養成研修

- 農業農村整備事業の目的、概要、農業農村工学の基礎科目を学ぶ
- 農業の水利利用計画を策定する上での基礎的な知識の修得、調査の実習

農村派遣研修

基礎技術研修

- 農村工学に関する基礎技術、基礎知識を学ぶ

中堅技術研修

- 農村工学に関する幅広い技術、知識を学ぶ

実践技術研修

実践力を学ぶ

→土木施工管理技士

施工管理

施設機械

品質管理

用水計画・パイプライン

施設管理

事業管理

事業計画

ストックマネジメント

講習会

実務上必要となる技術知識を学ぶ

→災害対応、支援

施設機械及び電気概論

UAV操作技術

災害復旧技術

積算システム基本操作

情報化施工

CAD技術

積算業務（実践）



キャリアパスに応じたきめ細やかな研修が用意されています。

現場経験と合わせて、研修・講習会をうまく組み合わせ受講（+努力）することで、土木分野の各種資格を取得できる知識を習得できます。

国営事業の紹介(かんがい排水事業)

道前道後用水地区(愛媛県松山市、西条市他)

昭和及び平成の国営事業で造成した老朽化が進んだ施設の整備と、周辺道路や学校などの安全を確保するため、施設の耐震化を行っています。(2023年着工、事業費約230億円(予定))



Mission:老朽化対策

取水堰(コンクリート製)は流水や流下物により摩耗、ゲート(鋼鉄製)は経年変化により劣化しているため、これらを整備



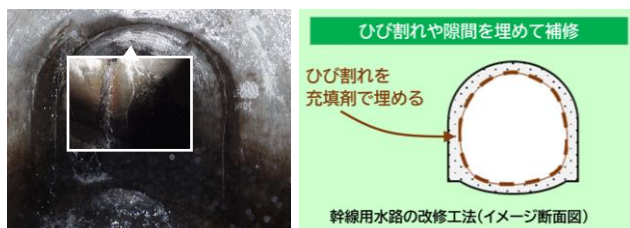
Mission:老朽化対策

電気設備、電子機器が故障しているため更新



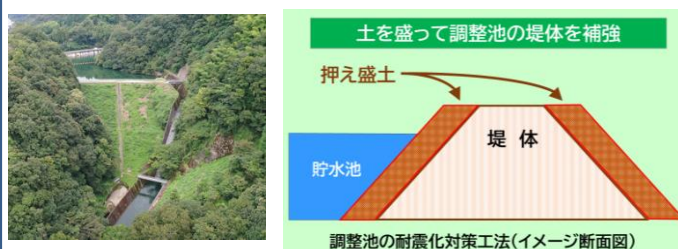
Mission:老朽化対策

水路(トンネル)のひび割れや欠損部を補修



Mission:耐震化

大規模地震に備えて、ダムを補強(横谷調整池、通谷調整池)



国営事業の紹介(農地整備事業)

宍道湖西岸地区(島根県出雲市)

担い手へ農地の集積、収益性の高い農作物の導入、生産拡大を目指して、区画整理と農業用排水施設を整備しています。(2018年着工、総事業費約260億円(予定))



Mission: 農地の大区画化

農地の一次的な整備はしているものの、大規模な経営を展開するには、狭いほ場(10~30a)となっているため、ほ場を大区画化して、担い手への集積を促進、農作業の効率化を図る



このままにしておく...

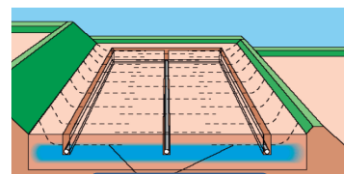
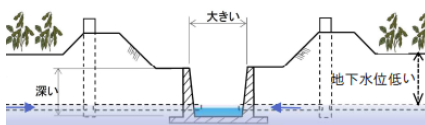
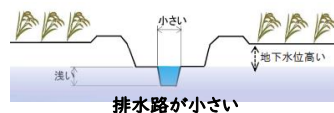
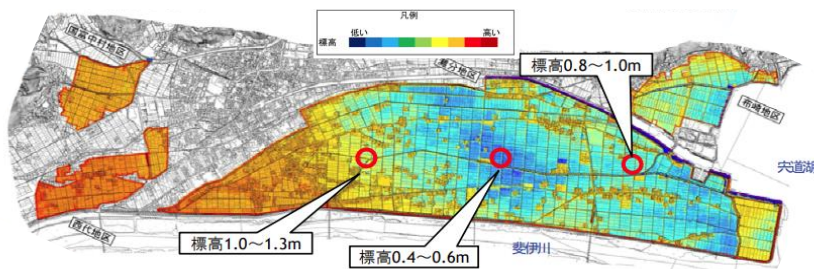


ほ場整備(大区画化)



Mission: 排水対策

低平地で常に地下水位が高く、降雨で湛水するなど、水田の畑利用に支障をきたしているため、排水路や排水機場などを整備して、農地の水はけを良くして、水田の汎用化、湛水被害を解消



出雲ブランドの拡大・高付加価値化・地場産業との連携

一般職試験(大卒)

人事院 国家公務員になるための試験

試験申込

2月19日(木)~3月23日(月)

第1次試験

5月31日(日)

第1次試験 合格発表

6月24日(水) 9:00

官庁合同業務説明会(広島・高松) 6月下旬

第2次試験(人物試験)

7月8日(水)~7月24日(金)

最終合格発表

8月12日(水) 9:00

採用元:中国四国農政局

中国四国農政局に入るための面接他



この間、ご希望に応じて、適宜、業務説明(対面、オンライン)や現地見学会を開催しています。

個別業務説明

6月1日(月)

官庁訪問(一次面接)

7月2日(木)~7月7日(火)
のいずれか1日

官庁訪問(二次面接)

7月下旬~8月上旬
※日程は別途お知らせします。

採用面接

最終合格発表後

採用内定

入省



↑一般職(大卒)
採用情報
官庁訪問
の申込は
こちら

一般職試験(高卒・社会人(係員級))

人事院 国家公務員になるための試験

試験申込

6月12日(金)~6月24日(水)

第1次試験

9月6日(日)

第1次試験 合格発表

10月8日(木) 9:00

第2次試験

10月14日(水)~10月23日(金)

最終合格発表

11月17日(火) 9:00

採用元:中国四国農政局

中国四国農政局に入るための面接他

この間、ご希望に応じて、適宜、業務説明や現地見学会を開催しています。

業務説明会

対面又はweb

10月13日(火)

10月26日(月)

11月6日(金)

採用面接

最終合格発表後

採用内定

入省



↑業務説明
現地見学
の申込は
こちら

採用実績（採用者数）

職 種	試験区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
一般職技術系 (大卒程度)	農業農村工学	26 3	26 3	30 1	17 1
	土木	0 0	0 0	1 1	3 0
	デジタル・電気・ 電子	0 0	0 0	0 0	1 0
	計	26 3	26 3	31 2	21 1
一般職技術系 (高卒程度)	農業土木、技術	17 2	23 3	30 4	37 7

注1 上段の数値は、7地方農政局の採用者数、下段の数値(赤)は、中国四国農政局の採用者数です。

注2 採用者数は、各試験年度で整理した翌年度採用者の数。過年度試験の合格者を含みます。

注3 試験区分について、「農業農村工学」だけではなく、「土木」「機械」「デジタル・電気・電子」区分の採用実績もあります。

採用関係 Q&A

Q. 一般職の採用プロセスを教えてください。

A. 一般職の採用試験は、人事院で実施する試験(筆記試験、面接試験)に加えて、農林水産省で実施する面接試験(官庁訪問)があります。人事院試験に合格すると、採用候補者名簿に登録され、その採用候補者の中から、面接試験の結果によって、採用内定者が決定されます。(人事院試験の合格有効期限は5年間です。)

Q. 総合職・一般職の仕事内容の違いについて教えてください。

A. 総合職は幹部候補生として、我が国の将来の在り方をデザインし、政策の企画・立案業務を中心となって担うのに対して、一般職は主に地方農政局等において、具体的政策の実行(現場主義!)に携わります。

Q. 国家公務員採用試験の点数(順位)は、採用に関係しますか。

A. 国家公務員採用試験を最終合格した方であれば、点数・順位は採用には関係しません。人物重視で採用しています。

Q. 説明会への参加回数や、インターンシップへの参加の有無は、採用に関係しますか。

A. 説明会やインターンシップは、学生の皆さんに、私たちの仕事を知ってもらうことを第一に考えて行っているものです。採用には影響しません。皆さんが就職先を考える上での一つの検討材料として、気軽にご参加ください。

Q. 農林水産省(農業農村工学、農業土木)ではどのような人材が求められますか。

A. 技術者としての専門性に加えて、農家さんの他、多くの関係者とのコミュニケーションを大事にしながら、現場で生じている様々な課題に対して、チャレンジ精神を持って対処することができる、対処したいとの気持ちを持っている方、是非とも入省してほしいと考えています。

採用後の待遇など Q&A

Q. 初任給はいくらになりますか。

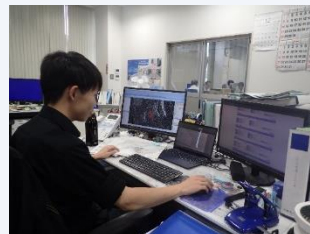
A. 令和8年4月時点の初任給(基本給)は、一般職(大卒)23万円、一般職(高卒)20万円です。
そのほか、基本給を補完する諸手当(住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(ボーナス)←年間4.65月分、超過勤務手当などが支給されます。(諸手当は、それぞれ支給条件を満たす場合に支給されます。)

Q. 勤務地はどのように決まるのですか。希望は聞いてもらえますか。

A. 一般職は、主には農政局(本局)、管内の事業(務)所で勤務します。その勤務先は、毎年、人事担当者に人事に関する希望調書を提出する機会があり、人事担当者は、本人の希望も考慮しながら決定しています。なお、異動は定期的(概ね2〜3年間隔)にありますが、引越を伴う異動ばかりではありません。



←詳しくは
人事院HP



問合せ先:

中国四国農政局農村振興部設計課 採用担当

Tel : 086-224-9419

Mail: nn_recruit.chushi@maff.go.jp

MEMO



↑こちらへ

